

科目名		3DインテリアII			
担当教員		明治みずほ		実務授業の有無	無
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	プレゼンテーションの必要性と技法を理解する。 ・課題制作を中心に、見せ方、描き方を学び、就活に活かす作品を作る。 ・条件に則したプレゼンツール作成の基本を理解する。 ・プレゼンテーション(発表)の手法を学ぶ。				
学習目標(到達目標)	インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解する。コーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ・3DインテリアデザイナーNeo3				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ポートフォリオ制作 表紙制作、課題のブラッシュアップ(マンション、店舗併用住宅等)、店舗併用住宅プレゼンテーション			就活に活かせるよう作品集をまとめる。	
2	店舗併用住宅プレゼンテーション			クラス内で課題を発表する。 →講評	
3	「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」 ・課題の条件、概要について深く理解する ・作品イメージをまとめる ・作品テーマにつながるキーワードを見つける			方法: コンテスト作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 ベアワークで制作に取り組む。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 準備: 配布プリント	
4	「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」② ・作品のコンセプトを考え、デザインにどう反映するか考える ・付帯条件を理解し、空間の全体イメージを決める ・作品で使用する、インテリアエレメント(要素)を決める			方法: コンテスト作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 ベアワークで制作に取り組む。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 準備: 配布プリント	
5	「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」③ ・3Dパースを完成させる ・完成訴求力のあるプレゼンシートを目指す			方法: コンテスト作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 ベアワークで制作に取り組む。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 準備: 配布プリント	
6	コンテスト作品プレゼンテーション ①作品の発表 ②作品の講評			各自コンセプトや内容について発表し、講評を行う。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題			コンテスト課題への取り組みを通し、自ら考え挑戦する力を身に付ける。建築だけでなく様々な事柄に興味を持ち、条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。ベアワークを取り入れ、共同で作品制作を行う。実務では一人で業務を行うわけではないことを理解し、複数人と仕事をする練習と捉え協力して取り組む。習得レベル差ごとの指導も適宜行う。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					